



ガバナー公式訪問 東 邦彦ガバナーをお迎えして

第2670地区、中村RCで39年目になります。中村は四万十川の環境保全等の事業を行っていて、53名のうち半分がJCから、残り半分が野球をやりたい人が集まったようなクラブです。高知県で初の県庁所在地以外からの初めてのガバナーになります。

コロナ禍でもあり地区大会も思ったようにはできず、四名のみのご案内となってしまいました。しかし、Youtubeの視聴も順調に増えていて、満足しています。

RCが1920年に東京に来てから100年という年度です。坂出RCは68年されていて、今地区内74のクラブをまわっていますが、地区内最古の今治RCの87年と同様に非常に価値ある期間です。プライドをもっていたいただき、それだけ続いたことはどういうことをしてきたのか、本年度は半分過ぎましたがそういう過去も検証していってください。なぜ例会をするのか。例会で培う親睦があり、奉仕活動をするために、リーダーや若い人を育てていく。右手に親睦、左手に奉仕の両輪でなければならない。この地域社会が坂出RCが68年あったからよくなつたということを認識する時でもある。

地域の先には世界があり、そして自分磨きがある。その歴史の中で会員増強となっていく、また女性会員の増強は避けては通れない。ロータリー研究会によると、RIはコロナで減っていたが、今期3.6万人増で120万人を越えた。女性比率は24%で、日本では7%（8.4万人）世界で見ると低い。時期RI会長は初の女性で24%では満足しないだろう。花岡先生からもあったが、男性の態度を変えていかないといけない。いずれにしても、日本RCで必須の内容となっている。中村RCでは女性はずっと一人だったが、10年前くらいに二人になり、来期は理事も務める。会の中で女性陣のおしゃべりが聞こえると華やかになる。その方から紹介いただき、今では四人になった。クラブにとって女性のアイディアや行動力は必要になってくる。

RIの基本方針は千年代はRIからの指導であったが、二千年代にはクラブが中心となった。5つの基本を脱しなければ、あらゆる事業ができクラブによって多様性がある。ロータリーの友委員会の知人もクラブは楽しくなければならないと言っていた。100のクラブがあれば、100の顔がある。多様性が活性化につながる。今年度も残すところ半分だが、後半勝負！クラブの前進のために会長のリーダーシップを發揮して欲しいと思います。

例会報告(12月14日)

会長挨拶

東ガバナーをお迎えしての例会です。よろしくお願ひします。事前に会長幹事懇談会が11時40分からということでしたが、10時半ごろに来てしまいました。1階会場は大がかりに片づけしていて今日本當にあるのかなと思っていたところ、存外にガバナーが到着され、早く来ておいてよかったです。ということで、まじめな挨拶を考えていたのですが思いつかず、いつものでいきます。今日は何の日ですが、1911年アムンゼンが初上陸した南極の日。また、忠臣蔵の日ですね。また、イチローさんが高松商業のコーチに来てましたね。水科さん（の息子さん）が非常にうらやましいです。本日はよろしくお願ひいたします。



中橋：ガバナーようこそ

立石：孫が市民マラソンで優勝しました

坂田・綾：新倉庫竣工しました

津島直：横井石油でリフォーム、大満足です

水科：イチローが高松商業にコーチに来ました

吉原：RC100周年記念バッヂいただきました。ガバナー本日はありがとうございました。



○次回例会のお知らせ○

日 時 12月21日 18:30~

場 所 坂出グランドホテル 四国の間

内 容 クリスマス忘年会

●新年夜間例会のお知らせ●

日 時 令和4年1月12日（水）18:30~

場 所 綾井

内 容 会費3000円

パートナー誕生日祝

立石・秋山

結婚祝

小林・水科・高畠・金丸

●出席報告●

会員数	欠席者数	メークアップ	出席率
38名	4名	1名	92.31%